



Works: Masato NAGAI

ギターとヴァイオリンの響き

— バロックからタンゴまで

プログラム

バガニーニ:チェントーネ・ディ・ソナタ第一番イ短調 作品64

ヘンデル:ヴァイオリンソナタニ短調 HWV359a

ジュリアーニ:協奏的大二重奏曲 作品85

細川俊夫:無伴奏ヴァイオリンのための悲歌

タンスマン:カヴァチーナ組曲より

ピアソラ:タンゴの歴史



ヴァイオリン 尾崎羽奈



クラシックギター 木村真一朗

2017年11月11日(土)

13時30分開場 14時開演

会場:アコスタディオ

前売券:3000円 学生券:2000円(中学生以上)

主催:尾崎音楽事務所

後援:東京藝術大学同声会、洗足学園音楽大学同窓会

お問い合わせ:ozaki.music2017@gmail.com

爪弾く、奏でる一弦楽器同士ながら異なる発音原理を持つギターとヴァイオリンは16世紀ごろに誕生し独自の発展をとげました。

この二つの楽器によるアンサンブルは古くはバロックソナタの旋律楽器と通奏低音として親しまれ、19世紀にはパガニーニやジュリアーニといった時のヴィルトゥオーゾたちによって数々の珠玉の作品が生み出されました。また、20世紀に入ると民族的な色合いの作品においてその魅力を発揮します。

このコンサートでは様々なスタイルによる作品を集めました。時代ごとに大きく表情を変える響きをお楽しみください。

演奏者プロフィール



ヴァイオリン 尾崎羽奈

東京藝術大学大学院修士課程修了。ブラームスのヴァイオリンソナタと歌曲についての論文と演奏で修士学位取得。

ヴァイオリンを進藤義武、浦川宜也、松原勝也の各氏に、室内楽を松原勝也、長尾洋史の各氏に師事。第1回ルーマニア音楽コンクール(現在のルーマニア国際音楽コンクール)弦楽器部門第2位、併せて特別賞受賞。

2008年、2009年、2011年、2013年にソロリサイタルを開催し、いずれも好評を博す。東京藝術大学教育研究助手を経て、現在おもに室内楽の分野で活動を広げ、認定NPO法人TAMA音楽フォーラムの運営に携わる他、後進の育成にも尽力している。



クラシックギター 木村眞一郎

1994年生まれ。神奈川県出身。洗足学園音楽大学弦楽器コースクラシックギター専攻卒業。これまでにギターを畑上良文、原善伸、鈴木大介、大萩康司の各氏に師事。ソルフェージュを大森義和氏に師事。第32回スペインギター音楽コンクール第1位、第39回GLC学生ギターコンクール大学生の部第1位、第42回神奈川新人ギタリストオーディション入賞。JGAギター音楽祭2015に出演し、ベストパーformer賞を受賞。JTアートホール主催の「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」、LFJエアロコンサートに出演。

平成26、27年度、洗足学園の特別選抜演奏者に認定される。

現在、洗足学園音楽大学院2年生。ヤマハ大人の音楽レッスンでクラシックギターの講師を務める。

QRコードから問い合わせ先を取り込みます。



お問い合わせ: ozaki.music2017@gmail.com

